

平成30年8月17日(金) 12989号



株式会社 日刊金属

本社 〒530-0043
 大阪市北区天満2丁目12番3号
 ヴィレッジリバー南森町 3階E号
 TEL (06) 6353-7831 (代表)
 FAX (06) 6353-7832

東京支社 〒140-0001
 東京都品川区北品川1丁目9番7号
 トップルーム品川1015
 TEL (03) 6869-9983 (代表)
 info@nikkankinzoku.co.jp
 WebPage https://nikkankinzoku.co.jp/

購読料 12ヵ月 72,000円(税別) データ12ヵ月 84,000円(税別)
 6ヵ月 36,000円(税別) 配信料 6ヵ月 42,000円(税別)

銅・銅合金は受入が出荷上回る

6月非鉄金属原料取扱量

アルミ除き月末在庫が増加

非鉄金属リサイクル全国連合会

非鉄金属リサイクル全国連合会(六車龍三会長)がこのほど発表した2018年6月の非鉄金属原料取扱統計によると、銅と銅合金はともに受入が出荷を上回り、発生があったことをうかがわせた。

銅の受入数量は前年同月比11.8%増の1万2,037.5トン、出荷は同9.1%増の1万1,489.8トン。月末在庫は4.5%減の8,635.1トンで、月初から793.3トン増加した。

銅合金の受入は4.1%増の7,113.4トン、出荷は2.6%増の7,064.7トンでいずれもプラス転換。月末在庫は2.6%増の6,726.7トンで、月初より99.7トン増加した。

アルミニウムは、出荷が受入を上回った。受入は3.7%増の7,394.5トン、出荷は6.3%増の7,685.1トン。月末在庫は16.7%増加し2,861.1トンで、月初に比べ244.7トン減少した。

18年6月非鉄金属原料取扱状況(単位:トン)

品目	月初在庫	月間受入	月間出荷	月末在庫
銅	7,841.8	12,037.5	11,489.8	8,635.1
	▲9.0	11.8	9.1	▲4.5
銅合金	6,627.0	7,113.4	7,064.7	6,726.7
	0.0	4.1	2.6	2.6
アルミニウム	3,105.8	7,394.5	7,685.1	2,861.1
	25.2	3.7	6.3	16.7
その他	5,381.3	8,328.7	7,321.4	6,040.8
	▲11.8	▲29.0	▲36.0	3.7

下段は前年同月比(%)、▲はマイナス

その他(被覆銅線、銅・銅合金滓、鉛、亜鉛、ステンレス、錫、特殊合金等、銅分50%以下のもの等)は、受入・出荷とも前年同月比で大幅なマイナスとなる中、受入が出荷を上回った。受入は8,328.7トンで、前年同月比29.0%減、出荷は7,321.4トンで36.0%減少した。月末在庫は3.7%増の6,040.8トンで、月初から659.5トン増加した。

6月の電気銅建値平均価格は81万円で、前月比1万2,200円上昇。電気亜鉛建値平均価格は38万9,000円で同4,500円上昇。電気鉛建値平均価格は、前月比1万4,000円上昇し33万3,000円。

社会の発展とその未来に
 テクノロジーで対応する

KYOWA

地球にも、人にもやさしい KYOWA のエコ電線

タイシガイセンEM 600V EEF/F

http://www.kyowadensen.co.jp/



協和電線工業株式会社

KYOWA ELECTRIC WIRE INDUSTRY CO.,LTD.

〒581-0026 八尾市曙町1丁目7番

TEL (0729) 91-0818 (代) FAX (0729) 91-4470

日刊金属

購読料	12ヵ月	72,000円(税別)
	6ヵ月	36,000円(税別)
外電配信料	12ヵ月	84,000円(税別)
	6ヵ月	42,000円(税別)

3か所目の窓研究開発拠点

YKK AP

インドネシアに開設

YKK AP (堀秀充社長) は、インドネシアに窓の研究開発拠点として「YKK AP R&Dセンター (インドネシア)」を開設した。同国タンゲラン県にある「YKK APインドネシア」内の建屋を研究開発施設へと改装するとともに、実証実験用の施設として「実験棟」を新たに建設した。年間を通じて湿度と気温が高い同国の居住環境の改善に役立てるのが目的。

活動内容は、◇蒸暑地域の気候風土・建築事情・基準等の調査◇蒸暑地域の建築物に適した省エネ構法・開口部の調査・研究◇自然エネルギーを取り込んだ「パッシブデザイン」研究◇需要の創造に向けた市場調査、商品の調査・研究・開発――。



3か所目の窓研究開発拠点を開設

インドネシアのYKK AP R&Dセンターは、富山県・ドイツに続き世界で3か所目の研究開発拠点。東南アジアを中心とした蒸暑地域の気候風土・建築に適した開口部の開発や、最低限のエネルギーで快適な住環境を設計するためのパッシブデザインを研究し、近年の温暖化が進む世界の人々の社会課題に提案できる窓をグローバルな視点で研究開発する。

YKK APは、インドネシアに同社初の海外アルミ建材一貫生産工場を1986年に設立し、事業展開を行っている。

世界を結ぶ循環流通サービス
原料から製品まで

Ogico OGIKAWA Corporation

銅・亜鉛・鉛・錫・ニッケル・アルミ・非鉄金属全般

株式会社 扇谷

本社 大阪市西区土佐堀町1丁目3番7号
tel:06-6444-1521~1530

東京支社 東京都千代田区神田錦町3丁目15番地
tel:03-5282-4800

名古屋支社 名古屋市中村区名駅3丁目16番22号
tel:052-571-2005

海外 シンガポール・香港・タイ・台湾・
マレーシア・フィリピン・上海・深圳・ベトナム

<http://www.ogico.co.jp>

日刊金属 既刊収録サイト

<https://nikkankinzoku.co.jp/>



英：LME、新規商品上場、電子取引での清算値決定といった提案に対するコンサルテーションを実施

2018年8月1日付けLMEのプレスリリースによると、LMEは市場参加者のフィードバックを基に2017年9月に発行したStrategic Pathwayを進めるために一部の規則変更及び新商品等を提案、そのためのコンサルテーションを開始したことを発表した。提案された内容には、2019年1月から熟延コイル(北米、北欧、FOB中国)、アルミニウム新地金プレミアム(米国、欧州)、アルミナ、コバルト、モリブデンといった計

8つの差金決済商品の新規上場、貴金属取引プラットフォームLME Preciousのオプション取引を2018年末に導入、新規メンバーシップカテゴリーにRegistered Intermediating Broker (RIB)を追加、ニッケル3か月先物の清算値を電子取引であるLMEセレクトの取引によって決めるトライアルを2019年第1四半期に実施することを挙げた。LME Clear CEOのAdrian Farnham氏は、市場参加者の要望により今回のニッケル3か月先物清算値電子決定のトライアル実施に至ったとし、トライアルによって電子取引及びリングベースの価格決定機能の相対的有効性を適切に評価することができると述べている。LMEはこれらの提案に対する意見を2018年9月28日まで受け付けている。

三菱マテリアル

金属事業から加工部門独立

「高機能製品カンパニー」新設

三菱マテリアル（小野直樹社長）は、10月1日付で新部門「高機能製品カンパニー」を社内を設置する方針を決めた。

現在、金属事業カンパニー内にある銅加工事業部、電子材料事業カンパニー、アルミ事業室を統合し、高機能製品カンパニーに移す。高機能製品カンパニーには、企画管理部と事業戦略部、品質保証部を設け、6部体制とする。銅加工事業部には、銅加工部と営業部を統括。電子材料カンパニーから改組される電子事業材料部は、機能材料部、電子デバイス部、多結晶シリコン部、営業部を統括する。

同社は組織変更に伴い、10月1日付で幹部職を中心に人事異動を行う予定。

組織変更の結果、金属事業カンパニーは、製錬事業部と資源事業部の2部体制となる。同社は、プロジェクト型事業を手掛ける各部門を1つのカンパニーに集約することで、各事業の効率的展開を図る考えだ。



鉛滓・鉛管板屑

株式会社 國樹商店

〒556-0011 本社 大阪市浪速区難波中1-16-8
電話 06-6649-0045 代表〒556-0011 工場 大阪市浪速区稲荷1-11-5
電話 06-6561-7331~2

チタン2社19年3月期第1四半期決算

チタン大手2社は、2019年3月期第1四半期連結決算を発表した。東邦チタニウムが増収増益、大阪チタニウムテクノロジーズは、製品の出荷時期ずれに伴い減収、また大阪北部地震で特別損失を計上し、最終損失となった。

(単位：億円)

東邦チタニウム

売上高	105.02
	16.5
営業利益	11.29
	25.4
経常利益	13.87
	62.3
当期純利益	9.76
	74.7

下段は前年同期比(%)

(単位：億円)

大阪チタニウムテクノロジーズ

売上高	71.86
	▲19.8
営業利益	0.01
	▲99.2
経常利益	4.42
	68.6
当期純利益	▲0.06
	-

下段は前年同期比(%)、▲はマイナス

<https://nikkankinzoku.co.jp/>日刊金属の既刊号等を
収録しています。日刊金属
Web Journal

TANAKA HD

職場の雰囲気を感じ

家族職場見学会を開催

TANAKAホールディングスは、傘下の田中貴金属グループの湘南工場で、工場勤務の従業員とその家族を対象とした家族職場見学会を実施した。同工場での見学会は、子供たちの夏休みに合わせて2012年より実施しており、今年で7回目。

見学会には小学1年生～5年生の児童9人と保護者7人の計16名が参加した。

見学会当日は、日常生活の様々な場面で活躍する貴金属の役割、貴金属の精製・リサイクルについての説明が行われた。実験を取り入れた工場見学、燃料電池自動車への乗車等、盛りだくさんの日程が用意された。

工場見学では、金のリサイクル工程など参加者の家族が働く職場を回りながら、参加者は髪の毛よりも細い金線や銀線を実際に触ってみる体験や、メモリに使



光ファイバテープ心線用被覆除去器 RS03

われている金線を観察。また、今年7月に新棟が竣工し、生産能力が増強された燃料電池用電極触媒の開発センター内での実験、金の地金(インゴット)を手にとって、手触りや重さを体感する体験も行われた。

子供達からは、「金が簡単に曲がるのが面白かった」といった職場見学会の感想の他、「いつも家族のために頑張ってくれていると思った」等の感想が寄せられた。

同社は、「従業員の子供達に父親、母親の職場を見せ、職場の雰囲気を体感してもらうことで、家族の絆を深めてもらうとともに、従業員の家族に自分の家族が働く姿や職場を見てもらうことで、会社への安心感を深めてもらいたい」と意義を強調した。

新断
新ダイ
高価買取します。

(株)エイワ産業

〒577-0536 東大阪市渋川町 2-2-2

☎ 06-7891-8180

FAX 06-7891-8170

日刊金属 既刊収録サイト



<https://nikkankinzoku.co.jp/>



ペルー：Nexa Resources社、
Cerro Lindo亜鉛鉱山における新たな探鉱許認可を取得

2018年8月2日付け地元紙によると、Nexa Resources社は、2017年における同社の亜鉛生産の約50%を占めたCerro Lindo亜鉛鉱山(Ica州)における生産量が、品位や処理量の低下により減少傾向にあることへの対応策として、新たな坑道の開削などに取り組みしており、2018年下半年には増産を実現できる見通しを示した。また、新たな鉱体の確認を目的として17,122m、また資源の再分類や確認を目的として10,842mのダイヤモンドボーリングを実施したことを明らかにした。

さらにNexa Resources社は、長期的な成長には新規エリアの探鉱が不可欠であるとの考えのもと、Cerro Lindo亜鉛鉱山のTopara Norteエリアでダイヤモンドボーリングの試錐座20か所を設置することで2018年5月にChavinコミュニティと合意形成し、許認可を取得したことから、8月初頭からボーリング調査を開始する計画を明らかにした。

他方、2018年7月には新たなズリ堆積場の建設許可も取得しており、9.4mUS\$を投資して堆積場を建設し、2019年第1四半期には利用が開始される計画である一方、海水淡水化プラントのダクト交換に11.8mUS\$を投資する計画を明らかにした。新規のダクトは2018年第2四半期に購入し、2018年末に到着する予定である。

7月のアルミレポート及び8月の見通し

橋本アルミ(株) 橋本健一郎



予想レンジ		
LME 現物後場買い	2,000-2,200ドル	●弱い
スクラップ	-5~10円	▲弱い
	(前月最終価格より)	
為替	110~112円	▲変わらず
	(1か月間TTM)	

■概況

前半は、5月に発動されたルーサルへの制裁に伴う供給不安、米ダウが米企業の好業績期待から上昇したことなどのプラス材料もあったが、中国商務省が米国が追加関税の対象となる2,000億ドル(約22兆2,000億円)相当の中国製品のリストを公表したことを受け、「必要な報復措置を取る」とする声明を発表したこと、英国のEU離脱期限の来年の3月29日を前に担当閣僚が2人もやめるなど混乱していることなどを嫌気しDOWN。

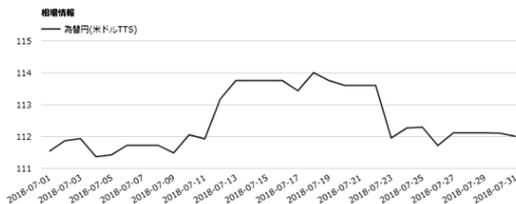
7月15日時点で2,102ドル(セツル)と月初価格から51ドルDOWNの前半締めとなった。

後半は米財務長官が金曜夜、対ルサル制裁解除に向けてオープンに構えとの発言などのプラス材料もあったが、トランプ大統領によるFRBへの介入発言、米国の輸入自動車関税25%賦課が年内にも発動するとのニュースなどを嫌気しDOWN。

8月3日現在LME(セツル)2,023ドルと後半スタート価格から107ドルDOWNしてのスタートとなった。

■前月の経済指標

◆月間のドル/円レート(TTS)
110.88→111.03(円)



出展 MIRU

◆自動車生産台数

日本自動車工業会によると自動車生産台数は前年比+4.6%の72万5,216台であった。

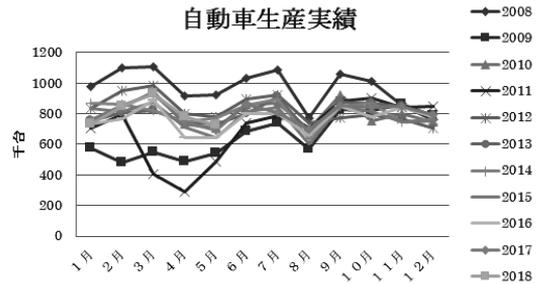
	3月	4月	5月
生産台数	93万2003台	77万76702台	72万5216台
前年比	+0.2%	+3.8%	+4.6%

◆自動車販売台数

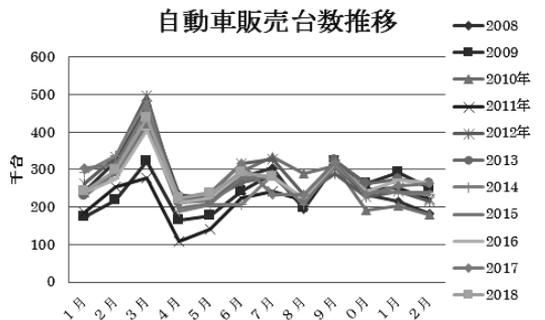
日本自動車販売協会連合会によると自動車販売台数(軽除く)は前年比+1.2%の28万1,876台。

	5月	6月	7月
販売台数	23万6023台	292761台	2万8176台
前年比	-0.6%	-7.3%	+1.2%

自動車生産台数実績



自動車販売台数推移

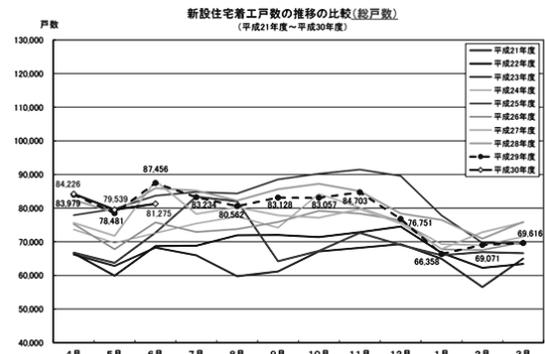


出典 日本自動車販売協会連合会

新設住宅着工件数推移

国土交通省統計によると新設住宅着工戸数は前年比-7.1%の8万1275戸であった。

	4月	5月	6月
新設住宅着工数	8万4226戸	7万9539戸	8万1275戸
前年比	-0.3%	+1.3%	-7.1%



出典 国土交通省統計

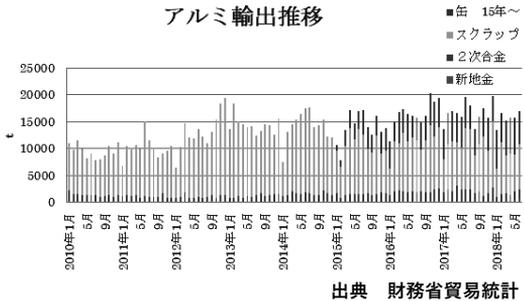
◆貿易指標

輸出

財務省貿易統計によれば輸出はアルミ新地金が前年比+711.3%の668t、2次合金が-29.1%の1,686t、スクラップが-25%の8,485t、アルミ缶が+5%の6,128t。

輸出	4月	5月	6月
新地金	53 t	417 t	668 t
前年比	-72.6%	+325.1%	+711.3%
2次合金	1341 t	1624 t	1686 t
前年比	-8.5%	-29.1%	-29.1%
スクラップ	7755 t	6874 t	8485 t
前年比	+9.6%	-11.6%	-25%
缶	6692 t	6802 t	6128 t
前年比	+3.3%	+19.3%	+5%

輸出推移

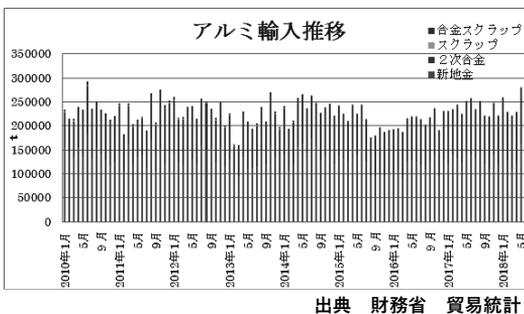


輸入

輸入は新地金が前年比+11.9%の15万8,708t、2次合金が-18.3%の9万4,415t、スクラップが+122.8%の1,103t、合金スクラップは-2.8%の3,268t。

輸入	4月	5月	6月
新地金	12万3320 t	16万2829 t	15万8708 t
前年比	+11.4%	+12.4%	+11.9%
2次合金	10万4901 t	11万7437 t	9万4415 t
前年比	-5.2%	+10%	-18.3%
スクラップ	594 t	1065 t	1103 t
前年比	+11.3%	+54.1%	+122.8%
合金スクラップ	3842 t	5137 t	3268 t
前年比	+0.7%	+32.3%	-2.8%

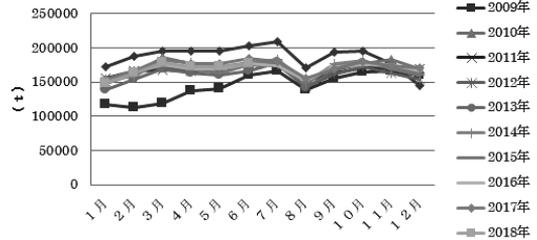
輸入推移



■前月の国内指標

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比-4.2%、17万6,923t、6カ月連続マイナス。

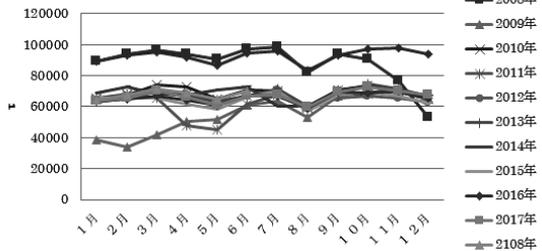
アルミ板類・押出生産合計推移



光ファイバテープ心線用被覆除去器 RS03

日本アルミニウム合金協会発表のアルミニウム2次合金、同合金地金等生産実績は前年比+5.6%の7万392tであった。

アルミ2次合金等生産実績



■概況

【自動車】

5月の四輪車生産台数は72万5,216台で、前年同月比+4.6%となり3カ月連続増加。輸出は41万2,156台で前年同月比-3.1%。

【販売】

7月の国内自動車販売台数(軽は除く)は28万1,876台で前年比+1.2%。1カ月ぶり増加。

内乗用車+1.6%、貨物-0.2%、バス-33%。

【住宅】

・平成30年6月の住宅着工戸数は81,275戸で、前年同月比で7.1%減となった。また、季節調整済年率換算値では91.5万戸(前月比8.2%減)となった。

・住宅着工の動向については、前年同月比で3カ月ぶりの減少となっており、利用関係別にみると、前年同月比で持家、貸家、分譲住宅ともに減となった。

・引き続き、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

【アルミ圧延・押出品生産数】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比-4.2%、17万6,923t、6カ月連続マイナス。

【板類】

生産・出荷共に6カ月マイナス。

(1) 缶材35,157t(▲16.8%)

ビール系飲料の低調に加え、ボトル缶も落ち込んでおり、5ヶ月連続でマイナス。

(2) 自動車15,400ト(1.1%)

乗用車向けの需要増により、5ヶ月連続でプラス。

(3) 輸出16,339ト(▲9.3%)

6ヶ月連続でマイナス(財務省貿易統計による5月の米国向け輸出:1,876ト、前年同月比:▲1.1%)。

【押出類】

生産、出荷ともに3ヶ月ぶりにマイナス。

建設39,047ト(▲2.2%)。3ヶ月ぶりにマイナスとなったが、先月のプラス幅が比較的高かった(+4.8%)ことによる反動減によるもの。

自動車12,182ト(▲3.0%)。トラック向けの減少により、5ヶ月ぶりにマイナス。

【アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績】

前年比+5.6%、7万392t、9ヶ月連続プラス。

出荷は+2.7%、7万331t、9ヶ月連続プラス。

内出荷先

鋳物+3.1%、ダイカスト+1.3%、板1.6%、押出+1.9%、鉄鋼+23.7%、合金地金メーカー、-2.2%。

【輸出】

アルミ新地金が前年比+711.3%の668t。

二次合金が-29.1%の1,686t。

スクラップが-25%の8,485t。

アルミ缶が+5%の6,128t。

【輸入】

アルミ新地金が前年比+11.9%の15万8,708t。

二次合金が-18.3%の9万4,415t。

スクラップが+122.8%の1,103t。

合金スクラップが-2.8%の3,268t。

【見通し】

・自動車は生産が+4.6%。国内販売台数が前年比+1.2%。

生産が3ヶ月連続プラス、販売が3ヶ月振りプラス。

販売増が継続するかどうかが今後に注目。

・住宅着工の動向については、前年同月比で-7.1%と3か月ぶり大幅マイナス。

大幅減が続くのか今後の動向に注目。

銅・非鉄金属地金全般

株式会社 オカモト

代表取締役 岡本宜三

大阪府堺市美原区黒山 696

☎ 072-361-2264 fax 072-361-2265

・アルミ圧延・押出品生産数は板類・押出生産合計は前年比-4.2%、6ヶ月連続マイナス。

今後更にマイナスが続くかの動向に注目。

【アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績】

前年比+5.6%、7万392t、9ヶ月連続プラス。

出荷は+2.7%、7万331t、9ヶ月連続プラス。

今後もプラスが続くか注目。

・アルミ輸出は地金がアメリカの輸入規制に伴う地金高思惑を受けて大幅増加。

スクラップは価格急落による塩漬け玉状態で減少。

アルミ缶は内需の荷余り感から増加。

・アルミ輸入は地金、スクラップが中国塊の割安感から増加。合金系は減少。

【スクラップ需給予想】

流通在庫は前月に続き中国塊の下落を受けてスクラップも連れて下落しており、売り玉が多いものの買い手は少なく飽和状態。

需要面に関しては前月に続き自動車の販売が低迷していること、輸入地金の下落、夏季休業を受けて荷余り状態になるのではないかと？

【価格・為替予想】

今月は米貿易戦争と対ルサル制裁の動向に左右される。

米貿易戦争に関しては中国商務部が「米国の貿易に関する脅し、いじめは理解できず報復措置を取らざるを得ない」との発表！トランプ米大統領も7月に公表していた2,000億ドル分の中国製品を対象とした対中制裁の関税率を当初の10%から25%に引き上げるよう米通商代表部(USTR)に指示するなど貿易戦争の長期化の様相。

対ルサル制裁の動向に関しては米財務長官が金曜夜、対ルサル制裁解除に向けてオープンに構えるとの発言したことから緩和に向かうのではないかと。

これらを踏まえた8月のアルミ価格は、米貿易戦争で両国間で歩み寄りが見られ、対ルサル制裁解除が決裂した場合2,200ドル付近。

両条件が揃わなかった場合現状から2,000ドル付近まで下落するとの予想。

為替は、上記材料からドル円値は110円~112円(TTM)台を予想。

スクラップ購買価格に関しては-5~10円程度と予測している。

鉛屑・活字屑

雨滝商事株式会社

広陵リサイクルセンター

代表取締役 雨瀧 卓

奈良県葛城郡広陵町大字三吉 27-1

TEL/FAX (0745)60-1613 携帯 090-2115-4918

高価買取ります

故銅市況

10日入電の海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）銅相場の直物前場売値が、前日の6,113.00ドルより134.00ドル高の6,247.00ドル。この日の直物後場買値は、前日の6,139.00ドルより61.00ドル高の6,200.00ドル。カーブ取引は前日の6,172.00ドル～6,173.00ドルより52.00ドル高の6,224.00ドル～6,225.00ドル。COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場（8月限）は、前日の274.05セントより1.50セント高の275.55セント。SHFE（上海先物取引所）の銅相場（8月限）は、前日の4万9,440元より160元高の4万9,600元。

10日の東京為替市場TTSレートは、前日の111.91円より0.01円の円安ドル高の1ドル＝111.92円。NYカーブLME先物比は27.50ドル安。10日に入電したLME銅相場のセツルメントは6,247.00ドル。この値と10日の東京外国為替市場USDドルTTSレートから計算した国内採算値は、前日の72万4,000円より1万5,000円高の73万9,000円。この日、電気銅建値は72万円に据え置かれた。

為替動向

10日午前の東京外国為替市場で、円相場は1ドル＝111円を挟む取引となった。午前9時の気配値は1ドル＝111.08円～111.11円、前日の17時時点に比べ0.04円の円安・ドル高。

9日のロンドン外国為替市場、現地16時時点は前日から横ばいの1ドル＝110.90円～111.00円だった。

同日のニューヨーク外国為替市場は、前日比0.11円の円安・ドル高、1ドル＝111.01円～111.11円で取引を終了した。

米国が制裁を含む厳しい姿勢を打ち出しているロシアやトルコといった新興国通貨が対ドルで下落する中、ドル円の取引にも波及した。7月の卸売物価指数（PPI）が市場予想を下回ったことから、円買い・ドル売りが一時先行したものの、その後は新興国通貨安を手掛かりとしてドルが買われた。一方、米長期金利

故銅直納問屋筋の平均値頃感（単位は千円）

直納問屋筋によるロット物（5トン前後）の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が587～592、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは568～573、並銅は507～512、込銅（高品位＝約97%）は467、セバは455～460。コーペルは要り用筋で446、それ以外は438ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋441、それ以外424～449どころの値頃。並青銅鋳物削粉は440～445どころ。

小口市中相場（1トン前後）では、ピカ線が590～595、上銅新くずが557～577、普通上銅が524～534、2号銅線が530～540、並銅が495～496、込銅（90-93%）が454～421、下銅が300～350、セバが422～432、コーペルが378～418、黄銅棒地が434～439、黄銅削粉が382～429、黄銅ラジが333～341、交叉ラジが320～331、黄銅銅鋳物が358～365、送りが190～205、上青銅鋳物が450～466、並青銅鋳物が442～455、上青銅鋳物削粉が447～466、並青銅鋳物削粉が440～444どころ。

が下落したことで、日米金利差の縮小観測も浮上し、円の下値は限定的だった。ニューヨーク市場のドル円レートのレンジは、110.86円～111.16円だった。

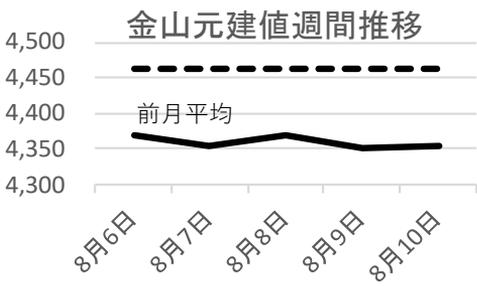
週末を控えた午前の東京市場では、ニューヨーク市場の流れを受けた円売り・ドル買いが先行。一方、111.10円台の水準では円の買い戻しが出て、円相場は再び110円台に入った。

非鉄金属全般
銅 滓・新棒コロ
誠実対応の高田商店
代表者 高田才吉
〒544-0001 大阪市生野区新今里7丁目11-11
☎ 06-6753-1643
FAX 06-6753-4545

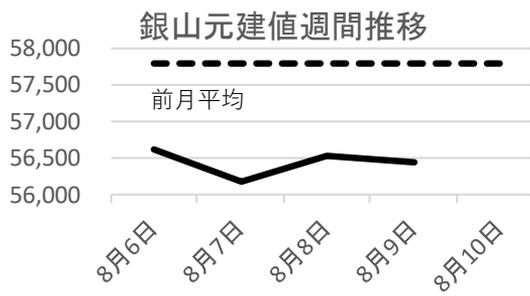


金銀山元建値週間推移

8月6日～8月10日



8/6	8/7	8/8	8/9	8/10
4,369	4,354	4,369	4,350	4,353



8/6	8/7	8/8	8/9	8/10
56,610	56,180	56,530	56,440	-



LME銅は反発 中国消費者物価指数の市場予想を上回る結果を反映
カーブ取引も反発 COMEX銅相場も反発 SHFE銅相場は続伸
LME非鉄相場は概ね堅調 錫は反落
アルミはおよそ5%高の急伸、供給不足への懸念が再燃

10日入電の海外相場は、銅の直物が、LME（ロンドン金属取引所）の公式値ベースで、前日の6,112.75ドルより133.75ドル高の6,246.50ドル。3か月物も、前日の6,142.00ドルより128.25ドル高の6,270.25ドル。LME公認倉庫の銅在庫量は、前日の24万9,000トンより約3,000トン増のおよそ25万3,000トン。COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場（8月限）は、前日の274.05セントより1.50セント高の275.55セント。カーブ取引は、前日の6,172.00ドル～6,173.00ドルより52.00ドル高の6,224.00ドル～6,225.00ドル。SHFE（上海先物取引所）の銅相場（8月限）は、前日の4万9,440元より160元高の4万9,600元。

9日に公表された中国の消費者物価指数は市場予想が前回発表から横ばいの1.9%だったが、これを0.2ポイント上回る2.1%となった。これを受け資材関連に広く買いが入った。LME銅は公式値ベースでおよそ2%高。

錫は下落

LME錫相場の直物は、横ばいの1万9,645.00ドル。3か月物も、前日の1万9,692.50ドルより132.50ドル安の1万9,560.00ドル。

鉛は続伸

LME鉛相場の直物は、前日の2,130.50ドルより5.75ドル高の2,136.25ドル。3か月物も、前日の2,145.00ドルより10.00ドル高の2,155.00ドル。

亜鉛も続伸

LME亜鉛相場の直物は、前日の2,655.50ドルより28.50ドル高の2,684.00ドル。3か月物も、前日の2,619.50ドルより33.00ドル高の2,652.50ドル。

アルミは急伸、およそ5%高 アルミ合金はまぢまぢ北米特殊アルミ合金は続伸

LMEアルミ相場の直物は、前日の2,021.50ドルより96.00ドル高の2,117.50ドル。3か月物も、前日の2,044.50ドルより92.50ドル高の2,137.00ドル。前日比およそ5%高の急騰。LMEアルミ合金相場の直物は、前日の1,650.50ドルより2.00ドル高の1,652.50ドル。3か月物は、横ばいの1,700.00ドル。LME北米特殊アルミ合金相場の直物は、前日の1,630.00ドルより5.00ドル高の1,635.00ドル。3か月物も、前日の1,665.00ドルより5.00ドル高の1,670.00ドル。LME公認倉庫のアルミニウム在庫量は、前日のおよそ116万3,000トンより約9,000トン減のおよそ115万4,000トン。

アルミ二次合金メーカー買値実勢値

1トン程度・置場・現金・キロ当たり円

関東地区(8月前半)

2S=197円～205円、63S=194円～198円、アルミホイール(1P)=189円～194円、ビス付サッシ=143円～147円、エンジンコロ=149円～151円、込合金(機械鋳物)=145円～147円、缶プレス(ソフト)=112円～127円。

関西地区(8月前半)

2S=192円～200円、63S=190円～194円、52S=202円～206円、印刷版=195円～200円、アルミホイール(1P)=178円～183円、ベースメタル=202円～207円、機械鋳物=149円～154円、ドライ粉=124円～126円、ビス付サッシ=144円～149円、缶プレス=130円～135円。

3月英国で起きた元情報機関職員の暗殺未遂事件でロシア政府が化学兵器を使ったと米国が断定、対露経済制裁の姿勢を硬化させており、ロシアのアルミ大手ルサルが9月にも一部生産を停止すると見解が出始めた。また、米国アルミ大手のアルコアが運営するオーストラリアのアルミナ精錬所はストに入っており、今年アルミの供給不足は50万トンに達するとの見方も出ている。アルコアのアルミナ供給量は世界のおよそ8%。

ニッケルは続伸

LMEニッケル相場の直物は、前日の13,917.50ドルより140.00ドル高の14,057.50ドル。3か月物も、前日の13,960.00ドルより145.00ドル高の14,105.00ドル。

アルミニウム地金
 アルミニウム原料
 熟練ポット炉技術で歩留まり UP!
井関金属株式会社
 代表取締役 井関親亮
 〒587-0021 大阪府堺市美原区小平尾 407
 ☎ 072-361-3333 fax 072-362-7667

LME公式値（単位：ドル）／8月9日（現地）

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公式値	6,246.50	19,645.00	2,136.25	2,684.00	2,117.50	1,652.50	1,635.00	14,057.50
	前営業日比	133.75	▲ 105.00	5.75	28.50	96.00	2.00	5.00	140.00
先物	公式値	6,270.25	19,560.00	2,155.00	2,652.50	2,137.00	1,700.00	1,670.00	14,105.00
	前営業日比	128.25	▲ 132.50	10.00	33.00	92.50	0.00	5.00	145.00

海外非鉄金属相場

(8月10日 入電・現地 8月9日)

1 ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns for metal types (銅 A G, 錫 H G, 鉛, 亜鉛 S H G, アルミ H G, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル, N Y コメックス相場) and rows for current prices, previous day, and high/low values.

Table with columns for market types (フリー・マーケット, N Y 相場, ロンドン相場 (ドル), K L T M 錫 (Mドル/キロ, 出来高トン), L M E 在庫 (トン), コメックス銅在庫 (トン), 上海在庫 (トン), N Y カーブ) and rows for various metal prices and inventory levels.

Table for 上海相場 (Shanghai Market) showing prices for copper, aluminum, lead, and tin for 8 and 9 month terms, along with daily price changes and high/low values.

Table for 採算価格 (Profitability Price) showing exchange rates and prices for LME, COMEX, and Shanghai markets for various metals.

非鉄金属製品相場

(8月10日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京
銅小板2.0ミリ	940	980	亜鉛板0.3×3×7	620	620
建築用0.3ミリ	950	990	印刷用亜鉛板トッパン用	800	800
銅大板2×1×2	1110	1180	給水管13ミリ	310	310
銅管(ベース)	1140	1160	鉛板1.5ミリ	340	340
水道用管(m当たり)13ミリ	810	840	鉛線3ミリ	465	475
銅棒25ミリ	920	970	軽圧品(仲値)	大阪	東京
銅条1.5×100	930	970	アルミ箔0.007ミリ	945	1005
銅線0.9ミリ	1000	1040	〃 小板1ミリ	520	510
銅帯6×50	920	980	〃 大板1ミリ	510	500
銅平角線	1200	1210	〃 5052板	650	550
黄銅小板2.0ミリ	810	840	〃 5083板	665	565
〃 0.3ミリ	835	855	〃 2017板	1035	925
黄銅大板2×1×2	990	1050	〃 線3ミリ	645	560
黄銅管	1370	1330	〃 快削棒25ミリ	785	780
復水器用黄銅管	1355	1375	〃 合金棒25ミリ(17S)	790	760
黄銅棒快削25ミリ	670	690	〃 合金棒25ミリ(56S)	770	720
六角棒	700	720	貴金属(一般小口向け)		
四角棒	730	750	白金(グラム)	◎ 3315	
鍛造用	710	730	パラジウム(グラム)		3574
ネーパル	810	830	金(グラム)	◎ 4727	
高力	810	830	銀(キログラム)	◎ 62420	
黄銅線6ミリ	1025	1075	レアメタル輸入価格	6月通関 (CIF)	
黄銅平角線ロール仕上	1230	1290	金属ケイ素(99.99%未満)	253	
黄銅条1.5×100	800	835	モリブデン酸化物	2210	
リン青銅板一般用1.0ミリ	1860	1840	タンタル	58345	
〃 バネ用0.3ミリ	2080	2050	マグネシウム	258	
リン青銅棒25ミリ	2120	2130	コバルト	10264	
リン青銅線3ミリ	2280	2260	インジウム	34161	
洋白板一般用1.0ミリ	2730	2680			
〃 バネ用1.0ミリ	2920	2880			

合金鉄	6月輸入単価 (CIF)
フェロマンガ2%以上炭素含有	144
〃 その他	174
フェロシリコン55%以上	164
フェロクロム4%以上炭素含有	154.8
フェロモリブデン純分60%以上	2038
フェロバナジウム	5764
フェロニッケル33%未満	404.5
電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ	326

減摩合金	8月1日改定
(500kg以上、大口価格)	
1種	2725
2種	2650
3種	2575
4種	2275
5種	2195
7種	895
8種	805
9種	725

銅合金地金	8月1日発表	
(標準価格)	大阪	東京
BC 1種	795	—
2種	965	—
3種	1010	—
6種	855	—
7種	885	—
YBSC 3種	705	—
LBC 3種	975	—
PBC 2種	1030	—

非鉄金属材料相場

		◎上げ ◆下げ		(8月10日調べ)		インジウム大口(99.99%)		42,000 ~ 46,000(1)	
非鉄原料 (炉前材)		大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地 金		大阪 仲間相場	東京 仲間相場		
1トン以上外税持込						高値	安値	高値	安値
1号銅線	642	639	電 気 銅	◎ 695	◎ 690	◎ 697	◎ 692	金	4353(10)
2号銅線	582		電 気 亜 鉛	322	317	322	317	銀	56,440(9)
上銅(新切)	614	613	蒸 留 亜 鉛	313	308	313	308	錫(99.99%)	3,650(1)
雑ナゲット	552	554	ダイカスト亜鉛2種	262	256	262	256		
並銅	563	561	再生亜鉛(98%)	232	227	232	227		
下銅	536	532	電 気 鉛	299	294	299	294		
銅削粉	539	536	再 生 鉛 1 号	279	272	279	272		
銅さい(30%)	25	25	再 生 鉛 3 号	282	267	282	267		
新切黄銅セバ	463	479	錫 1 号	2350	2300	2350	2300		
コーベル	439	449	ア ン チ モ ン	1080	1030	1080	1030		
黄銅棒地	441	446	ニッケル(メッキ用)	1750	1700	1750	1700		
黄銅削粉	435	442	コ バ ル ト	9700	9400	9700	9400		
並黄銅	428	431	セ レ ニ ウ ム	4200	4000	4200	4000		
黄銅ラジエター	324	322	ビ ス マ ス	1400	1300	1400	1300		
交叉ラジエター	369	354	カ ド ミ ウ ム	500	450	500	450		
黄銅鑄物	430		水 銀	1800	1700	1800	1700		
山送り	213		アルミ地金99.70%	◎ 268	◎ 264	◎ 270	◎ 266		
上青銅鑄物	503		アルミ二次地金99%	212	207	212	207		
並青銅鑄物	489	490	〃 90%	205	200	205	200		
上青銅鑄物削粉	494	484	アルミ二次合金ADC12	319	314	322	317		
並青銅鑄物削粉	481	474	鑄物用C2BS	344	339	346	341		
新切リン青銅(伸銅)		636	青銅合金地金3種	985	975	1020	1010		
〃 (鑄物)	619		〃 6種	855	845	865	855		
リン青銅削粉	520	516	ハ ン ダ 錫 60 %	1885	1845	1910	1880		
新切洋白(電子材)	540	524	〃 50 %	1665	1615	1690	1660		
新切亜鉛	154	154	〃 40 %	1505	1445	1465	1435		
ダイカストくず	129	129	減摩合金2種	2635	2605	2640	2610		
亜鉛ドロス	134	124	〃 4種	2260	2235	2265	2235		
上鉛	110	108	〃 7種	865	815	865	815		
電池巢鉛ケース込	40	37	ステンレス・特金	18-8ステンレス 新切		60	65		
活字鉛	105	102		〃 ダライ粉		45	50		
新切アルミ1級	163	166		13クローム 新切		18	18		
新切サッシ1級	164	167		ハイス 9種		130	130		
新切合金1級	154	157		〃 ダライ粉		—	—		
機械鑄物1級	117	117							
ビス付サッシP	103	106							
合金削粉P	94	94							
込ガラP	84	86							
カン・バラ	77	81							